

議員討論会

合併は成功だったのか？

～光と影～

だいせんちほ 大山町

新大山町が誕生して、10年目を迎えました。

合併の光と影、町民のみなさんいろいろな思いがあるでしょう。

議員同士でこの10年を振り返り、今後の大山町の課題について熱く討論しました。

平成15年8月合併協議会当時の町長

これまでとこれから

【杉谷】合併はソフト面でもよくなった。メリット、デメリットはあるが、今後の10年を考える「未来づくり10年プラン」に期待している。

【大杖】人口減少、少子高齢化は大きな問題。豊かな自然を生かし、本町にしかない魅力あるまちづくりをめざすべきである。

【圓岡】合併した自治体のほうが財政的に厳しくなる。大山診療所や高麗体育館をどうするか、事業の見直し、スリム化をどうはかるかが課題。

【加藤】商店がなくなり、住みにくくなった。そして、人口減少にこの悪循環をどう断ち切るかが課題である。

【岩井】情報通信網や拠点保育所の整備は、合併したからこそできた。課題は国保会計・保険税などいろいろある。

【西尾】合併は、行財政改革が目だったが、本町は行財政の効率化ができていない。交付税の減少を考えるとスリム化しかない。

【遠藤】山陰道開通で本町が通過点になった。景色や食のよさを

情報発信することで、インターから降りてもらうことが必要である。

【大森】人間関係が疎遠になったが、交流の場を生かし町民の一体化をはかる。行政サービスの低下を住民自治の推進で補う。

【近藤】合併に不満はくすぶるが、やむをえなかった。中途半端な施策では、個性のない町になる。真剣に議論し、まちづくりを進める時期である。

【西山】声なき声を聴いてきたのか。町づくりの中心に障がい者を据えたい。そのため、障がい者から学ぶことなどが大切である。

【吉原】大山恵みの里づくり計画を検証すると、50%（の進み具合）である。まちづくり地区会議を生かし発展させることが必要である。

【野口】合併のメリットは非常に少ない。目的がスリム化だったから、施設などスリム化を徹底することが一番である。

【米本】財政面を考えると、拠点保育所や中学校は旧町ごとに必要なのか。古い施設、今の施設をどうするか、方向性をはっきりさせることが課題。

【岡田】社会資本整備などプラス面、職員削減などによるマイナス面があった。財政の再構築とともに、子育て、雇用の創出など今後の課題である。

【大原】行政と町民・各種団体との距離が遠くなった。これを縮めるために人的交流の予算は必要である。団体への補助金の検討を。



山陰道が全町開通

行財政改革は

【杉谷】大山診療所は、地域に必要な医療機関だ。